

法人名 (株)清里の森管理公社

株式会社用

【法人の概要】

代表者名	小島 健太郎		所管部(局)課	森林環境部 県有林課		
所在地	北杜市高根町清里3545-1		電話番号	0551-48-3151		
ホームページURL	www.kiyosatonomori.co.jp		E-mailアドレス	center@kiyosatonomori.co.jp		
資本金(基本財産)	10,000	千円	設立年月日	昭和60年4月10日		
主出資者等	出資順位	出資者名等		出資額		出資比率
	1	山梨県		4,500	千円	45.0 %
	2	念場ヶ原山保護財産区		3,000	千円	30.0 %
	3	(株)清里の森管理公社		2,500	千円	25.0 %
	4				千円	0.0 %
	5				千円	0.0 %
	6				千円	0.0 %
	7				千円	0.0 %
	8				千円	0.0 %
	9				千円	0.0 %
	10				千円	0.0 %
	出資その他	団体(者)			千円	0.0 %
その他				千円	0.0 %	
				10,000	千円	100.0 %
設立経緯等	<p>「清里の森」は、地域の経済的・文化的な振興並びに県有林経営の活性化を図ることを目的とした県有林の高度活用事業のひとつとして山梨県が設置したものであり、別荘地区とセンター施設地区からなる保健休養施設である。(株)清里の森管理公社は、この「清里の森」を管理運営するため設立された県出資法人で、県との管理運営委託契約及び別荘借地人との一般管理契約等に基づき、別荘地区、センター施設地区を合わせた「清里の森」全体の管理運営に係る業務を実施している。</p>					

【主要事業の概要】

事業名	内容	事業費(単位:千円)		
		H25年度	H26年度	H27年度
事業1 別荘地管理運営等業務(共益費)	別荘地内の道路及び付帯施設等の維持管理、道路・歩道の除雪、ごみの処理、防犯等のための巡回パトロール、緑地管理等	50,460	51,750	51,662
事業2 収益施設管理運営等業務	テニスコート、パークゴルフ場、ディスクゴルフ場、売店及び食堂の管理運営、テナント賃貸、別荘入居者への個別サービス、別荘仲介業務等	41,177	34,669	39,817
事業3 文化振興施設管理運営等業務(1.2を除く全て)	森の音楽堂、森の工房等文化振興施設の管理運営、センター施設地区内の道路及び付帯施設等の維持管理、道路・歩道の除雪、芝生広場などの緑地管理等	8,757	8,823	8,222

【組織】

	年度	平成26年度					平成27年度					平成28年度							
		職プロパー	県職員派遣	県職員兼務	県OB	その他	職プロパー	県職員派遣	県職員兼務	県OB	その他	職プロパー	県職員派遣	県職員兼務	県OB	その他			
4月1日現在の人員																			
役員等	取締役(理事)(常勤)	1			1		1			1		1			1				
	取締役(理事)(非常勤)	4		2		2	4		2		2		2		2				
	監査役(監事)(常勤)	0					0					0							
	監査役(監事)(非常勤)	2				2	2			2		2			2				
	評議員	0					0					0							
	計	7	0	0	2	1	4	7	0	0	2	1	4	7	0	0	2	1	4
職員	管理職	2	2				2	2				2	2						
	一般職員	3	3				3	3				3	3						
	臨時職員	0					0					0							
	非常勤職員	1				1	1				1				1				
	計	6	5	0	0	0	1	6	5	0	0	0	1	6	5	0	0	0	1
プロパー職員の年齢構成(H29.4.1現在)	年齢	~20	21~30	31~40	41~50	51~60	61歳以上	合計			平均年齢			平均年収					
	男性			1	1	2		4	役員	※		(千円) ※							
	女性					1		1	職員	48		(千円) ※							
	合計	0	0	1	1	3	0	5	職員	48		(千円) 6,040							

※常勤役員は1名のため個人情報保護の観点から非公表。

【経営の状況】

(単位:千円)

項 目		25年度	26年度	27年度	増減(27-26)
収支状況	受託事業収入	0	0	0	0
	自主事業収入	100,394	95,242	99,701	4,459
	補助金収入	0	0	0	0
	運用益収入	0	0	0	0
	その他の経常収入	610	585	542	△ 43
	経常収入 計	101,004	95,827	100,243	4,416
	人件費	43,219	43,751	44,335	584
	その他の経常支出(費用)	64,932	55,142	60,010	4,868
	経常支出(費用) 計	108,151	98,893	104,345	5,452
	経常損益	△ 7,147	△ 3,066	△ 4,102	△ 1,036
	特別利益(経常外収入)	40	41	31	△ 10
	特別損失(経常外支出)	0	1	0	△ 1
	法人税等	74	74	80	6
	当期損益	△ 7,181	△ 3,100	△ 4,151	△ 1,051
前期繰越利益(損失)	33,195	26,014	22,914	△ 3,100	
当期末処分利益(損失)	26,014	22,914	18,764	△ 4,150	
次期繰越利益(損失)	26,014	22,914	18,764	△ 4,150	

(単位:千円)

項 目		25年度	26年度	27年度	増減(27-26)
財務状況	流動資産	36,951	35,966	30,044	△ 5,922
	固定資産	23,339	22,992	23,996	1,004
	資産 計	60,290	58,958	54,040	△ 4,918
	流動負債	5,365	6,693	6,923	230
	うち短期借入金	0	0	0	0
	固定負債	15,411	15,851	14,853	△ 998
	うち長期借入金	0	0	0	0
	負債 計	20,776	22,544	21,776	△ 768
	資本金	10,000	10,000	10,000	0
	資本剰余金	△ 2,500	△ 2,500	△ 2,500	0
	利益剰余金	32,014	28,914	24,764	△ 4,150
資本 計	39,514	36,414	32,264	△ 4,150	

(単位:千円)

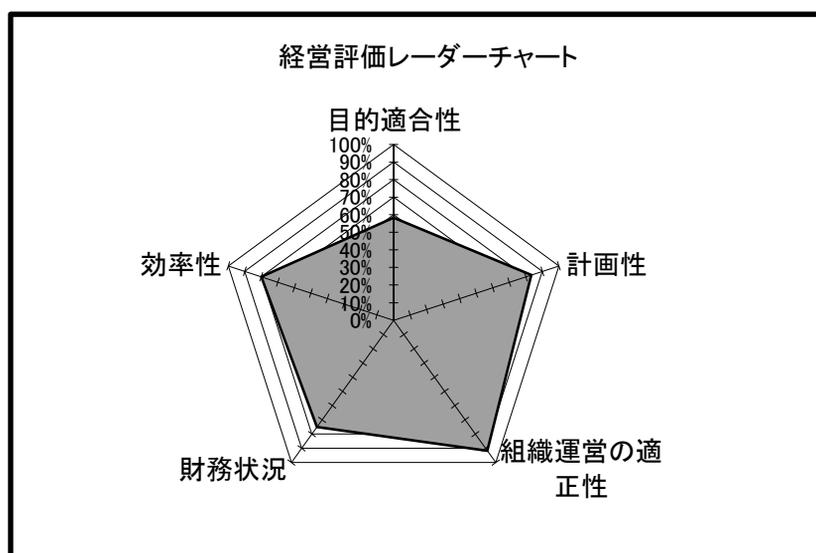
項 目		25年度	26年度	27年度	増減(27-26)
県の財政的関与の状況	負担金				0
	人件費補助金				0
	人件費以外の補助金				0
	運営費補助金	0	0	0	0
	事業費補助金				0
	補助金 計	0	0	0	0
	人件費委託金				0
	人件費以外の委託金				0
	委託金 計	0	0	0	0
	県支出金 計	0	0	0	0
	県の財政的関与の割合(%)	0.0	0.0	0.0	0
県貸付金残高				0	
県債務負担実際残高				0	

【県の財政的関与の内容・目的・金額】

項目	内容・目的・金額
負担金	
補助金 (運営費)	
補助金 (事業費)	
委託金	
債務負担行為	

【自己評価・評点集計】:(経営評価算出表により、法人自らが評価した結果を記入)

評価の視点	評価ポイント	評価項目数	満点	評点	得点率
目的適合性	出資法人が当初の設立目的あるいは公益目的と適合した業務を行っているかを問う視点	3	12	7	58.3%
計画性	出資法人が長期的ビジョンを持って計画的に事業運営に取り組んでいるかを問う視点	3	12	10	83.3%
組織運営の適正性	組織・人事・財務等の内部管理体制が適切に整備、運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切であるかを問う視点	3	12	11	91.7%
財務状況	出資法人の経営の安全性や収益性を問う視点	7	56	42	75.0%
効率性	出資法人の組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているかを問う視点	5	20	16	80.0%
合計		21	112	86	76.8%



【警戒指標】

--

【出資法人の自己評価】:(各評価の視点毎に、法人自らによる分析・検証の結果及び対応策を記入)

目的適合性	設立の目的である県有林高度活用事業の主旨に沿い事業展開を行っているが、目標値の達成には至っていない。
計画性	平成27年度を終期とした第2次経営計画(H23~27)に基づき、諸対策に取り組むとともに、当該計画の結果分析に基づく改善策を第3次経営計画(H28~32)に盛り込んだ。
組織運営の適正性	組織の適正性、リスクマネジメント、情報の公開性、いずれも適正に行っている。
財務状況	借入金無く、財務状況全般としての安全性は保たれていると考える。自主事業収入は全体として前期比増だが、利益率の高い事業の減収が最終損益に影響し赤字計上となった。
効率性	テニスコート等の営業施設と公園的エリアの利用者は増となり効率性は向上した。
総合的評価	観光客の動向や天候の影響を受けやすい経営環境のなかで、施設利用者数が増加し売上げが増加したものの、テナント店舗の撤退、維持管理費等支出の増加により4期連続しての損失金計上となった。



対応策	平成28年度を始期とする第3次経営計画に沿って、センター施設地区及び別荘地区における増収策に取り組むとともに、経営を圧迫している管理諸費や経常支出の分析を進め、一般管理費の抑制により支出改善を図る。また、県が実施している「清里の森再整備事業」により老朽化した施設の修繕や新設される施設を効果的に活用して平成28年度では単年度の黒字化を目指す。
-----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【法人担当部局の所見】:(法人所管部局による各評価の視点毎の分析、評価)

目的適合性	設立目的である県有林高度活用事業の主旨に沿った事業展開を行っており、その事業の必要性は継続している。 しかし、売上総利益が目標に対して3期連続で達成できていない点に課題がある。
計画性	第2次経営計画(H23.4～H28.3)に則り事業を実施しており、半期での経営分析及び分析結果に基づき対応は行っているが、より短期での経営分析及び分析結果に応じた具体的な改善策を講じる必要がある。
組織運営の適正性	組織・人事・財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、情報公開による透明性も確保されている。
財務状況	借入金や補助金に頼らない経営は評価できるが、経常損益が4期連続の赤字であることから、収支状況を改善するための方策が喫緊の課題である。
効率性	売上高及び施設等利用延人数が増加し、経営資源の利用度が高まったことは評価できる。一方、「販売及び一般管理費」も増加しており、効率性をさらに高めるために「販売及び一般管理費」の削減を図っていく必要がある。
総合的評価	売上げ及び施設等利用延人数は増加したが、経常損益は4期連続の赤字となっている。今年度を始期とする第3次経営計画(H28.4～H32.3)に則り着実に事業を進めるとともに、定期的に経営分析を行い、分析結果に応じた適切な対応により収支状況の改善を図っていく必要がある。

【総合評価】:(経営評価委員会、経営検討委員会による総合評価)

総合的所見	<div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 20%;"> <p>A</p> <p>得点率 80%以上 かつ 警戒指標なし</p> </div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 20%;"> <p>B</p> <p>得点率 70%～80% または 警戒指標が1</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 20%;"> <p>C</p> <p>得点率 60%～70% または 警戒指標が2</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 20%;"> <p>D</p> <p>得点率 60%未満 または 警戒指標が3以上</p> </div> </div>
	<p>※ ランク下の%は得点率の範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度は、施設の利用者数が増加したことから、売店の売上げや使用料収入が前年度より増え、効率性の評価が上昇するなど、経営改善に努力している。 ・一方で、別荘の仲介手数料等主要な収入が減少しており、全体としては4期連続の赤字決算となった。目標としていた売上総利益も確保できない状況が続いており、目的適合性の評価が低くなっている。 ・県、観光事業者等関係機関との連携を強化し、八ヶ岳南麓地域の観光拠点として地域の活性化に寄与するとともに、平成27年度に改定した経営計画が着実に実現されるよう、収益の増加と経費の抑制努力等による法人経営の改善に一層取り組んでいく必要がある。



【総合所見等に対する今後の対応方針】

<p>収支改善が喫緊の課題であることから、平成28年3月策定の第3次経営計画にもとづき、施設照明のLED化や冬期における電気設備の稼働時間の見直しにより光熱費を削減するとともに、職員の勤務体制を見直して時間外手当を削減するなど、支出改善に取り組んでいく。</p> <p>また、清里観光振興会に理事として参画し、八ヶ岳南麓の観光客増を図るとともに、「つつじ祭り」ほか地域の大型イベント会場を清里の森センター地区へ誘致し、リニューアルされた音楽堂や、新設される大型木製遊具などの施設を活用する中で、施設利用者の増加を図り、地域の活性化と経営基盤の強化に努めていく。</p>
